



鈴木 すすき

靖宏 議員
(新政クラブ)



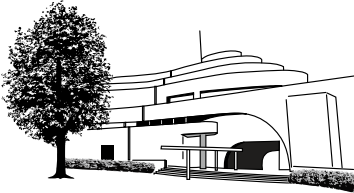
佐野市文化会館リニューアルについて (第2弾)

Q 本事業の白紙撤回を提案するが、市長の見解を聞きたい。

A 産業文化スポーツ部長
議員ご提案のとおり、様々な機能の施設を複合し、新しい建物にすることも、将来にわたってよりよい市民サービスにつながると理解しますが、地方債を活用することは、集約、複合の対象となる施設の解体、譲渡といった延べ床面積の減少が条件となり、特に合併前からの長年にわたり、周辺住民に親しまれてきた建物の解体や民間事業者等への譲渡となれば、時間をかけて、より丁寧な対応をしていかなければならないことも考慮しました。

その他の質問

- ☆交通安全意識を高める「自転車交通安全運転実技講習」の実施について
- ☆各人札について
- ☆指定管理者の指定の取消しについて
- ☆佐野市総合防災訓練について



慶野 けいの

常夫 議員
(政友みらい)



電気自動車(EV)について

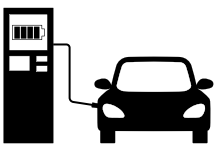
Q 国内の自動車メーカーより軽自動車の電気自動車が発売された。この軽自動車の価格を同じクラスのガソリン車と比べた場合、若干電気自動車のほうが高めだが、国の購入補助金を受けると、ほぼ同額で購入できることや、近年のガソリン価格高騰などの理由から、電気自動車の購入を考える方が増えていると思う。電気自動車の普及促進として、電気自動車購入補助金を再事業化してほしいと考えるが、本市の考えを伺いたい。

A 市長

昨今の原油価格高騰の影響により、市民の電気自動車等への関心も高まっていることから、「ゼロカーボンシティさの」の実現を加速化させるためにも、今後は二酸化炭素を排出しない電気自動車や、燃料電池車(FCEV)などの次世代自動車の購入をさらに促進させる新たな補助制度についても検討していきたいと考えています。

その他の質問

- ☆民法233条「竹木の枝の切除及び根の切り取り」の改正について
- ☆(仮称)高萩中央公園について



神宮次 じんぐうじ

秀樹 議員
(政友みらい)



林道の現状と維持管理について

Q 平成29年11月に開通した林道作原沢入線は、平成31年4月26日に通行止めとなっており、この9月で約4年5か月が経過する。栃木県の治山工事は令和5年度末に完了と聞いているが、通行再開に向けた本市の取り組み、スケジュールについて伺う。

A 市長

林道作原沢入線の通行止めの解除に向けて、栃木県による治山工事は年内完了を見込んでいます。本市では今年度、橋りょう補修工事を1件、のり面の改良工事を2件予定しており、令和6年3月完了の見込みです。また、栃木県による治山工事後、通行止めとなっている区間の落石等の除去や路面清掃等を実施し、安全な通行の確保を確認した上で、令和6年4月頃の通行止めの解除を目指しています。

その他の質問

- ☆ヤマビル被害の現状と今後の取り組みについて
- ☆特定外来生物「ガビチョウ」について
- ☆植物「オヒシバ」について

